



VOL.11  
2020.6.10 発行



豊田営業所 所長代理 **柴田 肇**

1997年(平成9年)に南星  
キャリックス株式会社に入社し、豊  
田営業所で所長代理を務めてい  
らっしゃる柴田肇さん。入社に至る  
経緯や思い出に残る職場での出来  
事、仕事の際の心がまえ、この先の  
目標を伺いました。

—南星キャリックスを志望し  
た理由と、入社後の業務について  
教えてください。

シンプルですが第一に、「トラック  
に乗ってみたい」という思いがあり  
ました。工場などで一日中缶詰めに  
されて働くよりも、外に出て働くド  
ライバーのほうが楽しそうだと感じ  
ていたのです。

豊田営業所に配属された後は、大  
型運転免許は持っていなかったた  
め、普通運転免許で乗れるトラック  
を運転していました。長らくドライ

バーとして働いていたのですが、10  
年ほど前に管理者になってからは、  
管理業務を中心に担当しています。

—これまで働いてきた中で、記  
憶に残っているエピソードにつ  
いてお聞かせください。

中部地方(豊田市)に事業拡大で  
事業所を新設した新規の顧客がで  
きたのをきっかけに、依頼された仕事  
はすべて断らずに引き受けようと決  
め、実際にその通りにやっていた時  
期がありました。

取引先から頼まれるまま次から次  
へと便を出し、仕事を捌いていきま  
したが、実際に負担がかかるのは現  
場のドライバーです。担当ドライ  
バーは3〜4名いたのですが、しわ  
寄せで担当外のドライバーや、本社  
スタッフの方へも運行をお願いする  
ことがあり、上司からもあまり無理

後もよろしくお願ひしますと伝えた  
いです。

柴田さんはこれからも仕事と仲間  
に誠心誠意向き合い、多くのことを  
吸収していくでしょう。

しく働いていてほしいですね。

ある人は趣味のイベントを楽しみ  
に、ある人は家族と過ごす大切な時  
間を充実させるために仕事をしてい  
る。それぞれが何らかの思いをもつ  
て日々を過ごしています。そういう  
楽しみを心に描きながら働く、モ  
チベーションアップにつながると思  
います。

自分が働いている会社だから、今  
よりも良い会社になってほしい。み  
んなが一緒にそう思う必要はないと  
思いますが、大切なものを心に持つ  
て働くことで仕事がうまく回り、会  
社の質も上がるのではないかと思っ  
ています。

—そうした思いはいいつ頃から  
抱いていたものですか。

ずっと感じてきたことでもありま  
すが、所長代理となってからは一層

をしすぎないようにと、心配を掛け  
てしまうことがありました。数ヶ月  
慌しい状況が続きましたが、客先の  
生産も徐々に落ち着き、便も定期化  
され、今でも良好な関係で仕事を  
いただくことが出来ています。

—仕事をやるうえで大事にし  
ていることや心がけていること  
を教えてください。

楽しく働くことでしょうか。自分  
だけではなく、周りの従業員にも楽

—今後の目標と従業員の方へ  
のメッセージをお願いします。

みんなが不安なく、日常を笑顔で  
過ごせる会社。そして自慢できる会  
社になれるよう、少しでも貢献でき  
たらと思っています。南星キャリッ  
クスで今日まで働いてこられたの  
は、上司や先輩を含め、会社の仲間  
に恵まれたから。感謝とともに、今

